

60 剖検率

指標の解説

- 剖検とは、入院中に死亡した患者に対する、病理解剖のことを言う。剖検の主な目的は、死因や病気の成り立ち、病態を解明することであり、担当医が遺族の承諾を得たのちに病理医が行う。
- 画像検査及び臨床検査の進歩などにより、剖検率は全国的に減少傾向にあり、平成20年度は2.1%、平成26年度は1.8%となっている。
- しかしながら現代においても、剖検により病気に関する重要な情報が発見されることもあり、剖検の結果はその後の診療における貴重な資料とされ、医師の教育上でも重要である。本指標は、検証や教育への積極性を表し、医療の質を測る指標となりえる。

分子: 剖検数

分母: 死亡症例数

